

学校教育目標「夢や目標をもち 果敢に挑戦し 自己実現する児童生徒の育成」

まなびの森



廿日市市立吉和小・中学校 校長通信

【第9号】R4.1.28.

校長 戸崎志乃婦

心を育て自分の意志をもつ

吉和小中学校は、施設一体型の小中一貫校ですので、小学1年生で入学した児童から中学3年生までが一緒に生活しています。小学生にとって中学生がいること、中学生にとって小学生がいることは大きな意味をもつと感じています。小学生は中学生を間近に見てお手本としてとらえますし、中学生は小学生を支えていく気持ちを育てつつ、自らが成長してきた過程を確認しています。

【心も体も成長する～保健指導～】

小学校では、身体測定後の保健指導として、「気持ち」「心と体の成長」について発達段階に応じて学習しました。赤ちゃんのときは「快」「不快」くらいだった気持ちも体の発達と共に複雑に分化していき、自分の思いが大半を占めていたものが、少しずつ周りのことも考え、行動しようとし始めます。周りの人との人間関係なしで生きていくことはできないので、家族の次に出会う社会としての学校で、人との関わりを通して、様々な気持ちをかかえつつ、自分の心を育てながら行動をしています。子どもの発達は個人差もありますし、個人の中でも、あまり成長していないように感じる時があれば、びっくりするほどぐんと頼もしくなることもあります。吉和小中学校は個々の成長9年間分が実感できる場所だとうれしく感じます。



【自分達のかで～生徒会サミット～】

1月21日(金)廿日市市内10校の中学校会執行部役員が意見交換をする「生徒会サミット」がオンラインで行われました。各校で「いじめをなくすために私達ができること」をテーマに討論をしました。本校からは、生徒会執行部の栗栖君、森田さん、中串さんが自分達で決めたキーワード「認める・仲間・思いやり」について説明しました。



執行部が目指そうしているのは、小中学校9年間、9種類の学年の児童生徒がよくなる学校です。それが他の中学校と違って難しいところであり、幅広い年齢層の実態まで考えて、児童生徒会を進める実行力が高められることが、最大の良さでもあると自負しています。これまでは自分達の学級目標を自分達で達成していくために行動してきたわけですが、今度は学校全体の目標を定めて全校を動かそうとしており、それを外部に向かって説明するまでに成長している。オンラインでの各校中学生は、大人顔負けの説明力。本校でも自分の意志をもった立派な中学生が育ちつつあります。

【自分の意志で進もう！】

2月からはよいよ受験が始まり、中学3年生は新しい進路の扉を自分の力で開こうとしています。吉和小中学校で心も体もしっかりと育ててきました。自分の意志で進路を決め、努力を重ねてきました。どうか9年間の学びに自信をもって実力を発揮してください。みんなで応援しています！

